

2013年度
事業仕分け

視点も論点もズレまくり

仕分け事業そのものが必要ない

当事者の意見が反映されない仕分け

名古屋市直営事業の廃止・見直しなどの判断を市民に委ねる「事業仕分け」（外部評価）が23日から3日間の日程で行われました。

対象は、卸売市場、子どもあんしん電話相談事業など11事業とテーマ型5事業。4～5人の有識者と無作為抽出の市民判定員が各班約30人で、対象事業の廃止・撤退、民営化、見直し、継続の判定を行いました。結果は見直し8、継続3でした。

利用者や現場職員の意見も聞かず、わずかな時間と材料をもとに議論して判定する手法には、市民からも疑問が出ています。不要不急の大型公共事業が評価の対象になっていません。名古屋市が今やるべきことは、国の悪政から市民を守る立場で、福祉や医療、教育、中小企業の予算を充実させることです。

卸売市場が「事業仕分け」の対象に

25日に「中央卸売市場（本場・北部市場）の経営管理」が議論されました。市長の狙いは指定管理者制度の導入などで、市の職員を減らすことです。卸売市場は、市民に安全・安心な生鮮食料品を適正な価格で安定的に供給する役割を担っており、民間企業の営利に任せるべきものではなく、すでに民間委託できる業務は委託しています。

論点も議論も市民感覚とは違う

仕分けでは、総務局の「論点」も、仕分け人（有識者）の議論も、市民の立場からはズレズレ。総務局は、「民間活力の導入」をいいますが、場内清掃業務や警備、消防設備の点検など、民間に委託できる業務は基本的に委託し、市の業務は、市場における業者の取引に関する法令に定められた業務や、市場施設の使用や修繕など公平性・公正性が求められるものです。

仕分け人の学者は、「業者間の調整に市が関わるのは護送船団方式だ。流通は暗黒大陸だといわれている。

なぜ、市が業者の間に入らないといけないのか」と、生鮮食料品の安定供給をすすめる卸売市場法が問題だと言わんばかりの意見まで。総務局の「論点」からも外れ、卸売市場が市民に安全・安心な生鮮食料品を適正な価格で安定的に供給する役割をどう果たしていくのかという前提がすっかり抜け落ちた議論が延々と2時間も続く仕分けが、市民のためになるのでしょうか。

2013年度事業仕分けの結果

事業名	判定結果	内訳	市民判定員	
子どもあんしん電話相談事業 	見直し	廃止・撤退	1	28名
		民営化	0	
		見直し	15	
		継続	12	
食品衛生検査所（食品安全・安心学習センター）	継続	廃止・撤退	2	31名
		民営化	0	
		見直し	12	
		継続	17	
卸売市場の経営管理（本場・北部市場）	見直し	廃止・撤退	0	26名
		民営化	0	
		見直し	19	
		継続	12	
クリエイティブ・デザインシティなごやの推進	継続	廃止・撤退	0	26名
		民営化	0	
		見直し	3	
		継続	23	
住情報の提供、相談事業等の実施	見直し	廃止・撤退	3	25名
		民営化	0	
		見直し	15	
		継続	8	
見晴台考古資料館	見直し	廃止・撤退	0	31名
		民営化	0	
		見直し	13	
		継続	12	
CO2削減活動の推進（EXPOエコマナーの活用）	見直し	廃止・撤退	11	30名
		民営化	0	
		見直し	9	
		継続	5	
学校体育センター	見直し	廃止・撤退	5	30名
		民営化	1	
		見直し	22	
		継続	3	
犬猫の避妊去勢手術・マイクロチップ装着助成（飼犬・飼猫の避妊去勢手術助成）	見直し	廃止・撤退	10	30名
		民営化	0	
		見直し	14	
		継続	7	
名古屋まつり負担金 	継続	廃止・撤退	1	30名
		民営化	0	
		見直し	12	
		継続	17	
ふれあい農業	見直し	廃止・撤退	2	30名
		民営化	1	
		見直し	18	
		継続	9	

テーマ型評価	判定結果	市民判定員	
防災の自助・共助の力を向上させるための普及啓発、教育等の手法のあり方について	①様々な防災事業の中で、市民に啓発等をしていくことは重要なことから、必要な改善をしつつも、現状どおり実施するほうがよい。	19	28名
	②効果的な分野に行政資源を注力したほうがよい。（現状の普及啓発、教育等のうち最も効果的だと思う手法を記載）	4	
	③その他（評価内容を記入）	5	